

国立大学法人琉球大学  
大学評価センター紀要『大学探究』刊行規程

2007.11.14 大学評価センター決定

(目的及び名称)

- 1 国立大学法人琉球大学大学評価センター（以下、「評価センター」という）は、大学評価のみならず大学活動に関する研究および実践的活動の成果を国内外の学界をはじめ評価に関心をもつ個人および機関に広く公表し、大学評価および大学経営活動の質の向上と普及に資することを目的として、「国立大学法人琉球大学大学評価センター紀要『大学探究』（仮名）」（英文仮名："The Journal of University Studies, University of the Ryukyus"、以下、『大学探究』という）を刊行する。

(編集委員会)

- 2 『大学探究』の編集は、編集委員会が行う。
- 3 編集委員会は、原則として、編集委員長を含み、6名以内をもって構成し、委員は評価センター長が学内外の専門家から選任する。編集委員の任期は2年とし、再任を妨げないものとする。
- 4 編集委員長は、評価センター長が努める。編集委員長は、編集委員会を代表し、編集委員会会務をつかさどる。編集委員長に事故ある時は、編集委員の互選により、編集委員の一人がその職務を代行する。
- 5 編集委員会は、最低年1回編集委員会を開き、編集方針、編集委員会企画、その他について協議するものとする。
- 6 編集委員会は、その活動等について、評価センター評価企画委員会へ随時報告を行う。
- 7 『大学探究』は、原則として、年1回刊行する。
- 8 『大学探究』の体裁は、A4版とし、英文又は和文とする。
- 9 『大学探究』に掲載する原稿（以下「論文等」という）の分類は、以下の5カテゴリーからなるものとする。
  - (1) 総説
  - (2) 研究論文
  - (3) 研究ノート
  - (4) 実践・調査報告
  - (5) その他
- 10 『大学探究』への投稿有資格者は、大学評価および大学活動に関する研究を行う大学・研究所の教職員、その他編集委員会が投稿を依頼した者および大学評価および大学活動に関心のある者で編集委員長が認める者とする。編集委員による投稿はこれを認める。
- 12 投稿原稿を上記分類のどのカテゴリーとして扱うかは、投稿者の申請等をもとに編集委員会が、下記の「作業指針」に従って決定する。
  - (1) 「総説」は、大学評価および大学活動に関する理論あるいは慣行について概観する論文とし、その掲載については編集委員会が企画・決定する。
  - (2) 「研究論文」は、大学評価および大学活動に関する理論の構築あるいは慣行の理解について重要な学問的貢献となると認められる論文とし、その採否については次項に定める査読プロセスを経て編集委員会が決定する。
  - (3) 「研究ノート」は、「研究論文」作成過程での理論的あるいは経験的な研究の中間的成果物に相

当する論考で、その採否については次項に定める査読プロセスを経て編集委員会が決定する。

(4)「実践・調査報告」は、大学評価および大学活動における実践あるいは調査の報告で、その採否については次項に定める査読プロセスを経て編集委員会が決定する。

(5)「その他」には、編集委員会が独自に企画する特集に掲載する依頼原稿や大学評価センターの活動報告等が含まれる。

13 論文等は 2 名の査読者により査読することとし、その人選は編集委員会が行う。「研究論文」については、査読結果と編集委員会が査読者とは別に指名する担当編集委員 1 名の参考意見をもとに、編集委員会が掲載に関する決定を行う。「総説」、「研究ノート」、「実践・調査報告」および「その他」の論文については、査読結果にもとづき編集委員会が掲載に関する決定を行う。

14 編集委員が『大学探究』に投稿した場合には、当該委員はその投稿に係わる編集委員会の議事に一切参加しないものとする。

15 上記いずれのカテゴリーの投稿についても、常任編集委員会による掲載の判断は可・不可の二者択一で行うこととする。但し、場合によっては編集委員会の判断で、小規模の修正による掲載も認める。「研究論文」としての掲載が適当でない判断された場合でも、投稿者が希望すれば、編集委員会は「研究ノート」あるいは「実践・調査報告」としての掲載を決定できる。

(投稿要領の作成公表)

16 編集委員会は、上記の編集方針にもとづき投稿要領を作成し、評価センター評価企画委員会の承認を得て、広く公表する。

(配布先)

17 『大学探究』は、編集委員会が定める大学・研究所等に無償で配布するほか、希望者に対しては有償で提供する。

(抜刷の配付)

18 『大学探究』掲載論文等の抜刷り 30 部を、投稿者(原著者)に無料で配布する。それ以上の部数を希望する場合は投稿者(原著者)の自己負担とする。

(インターネット上の公開)

19 『大学探究』掲載論文等は、投稿者(原著者)の了承を得て全文をインターネット上で公開する。

(著作権)

20 『大学探究』に掲載された論文等の著作権は琉球大学に帰属するものとする。

(事務局)

21 『大学探究』編集及び配布の事務は、それに関連する会計も含めて評価センター庶務担当課が担当する。

## 大学評価センター紀要『大学探究』投稿規程

2007.11.14 大学評価センター決定

### (目的及び名称)

- 1 『大学探究』(The Journal of University Studies, University of the Ryukyus)は、大学評価及び大学活動に関する論文、論考、調査報告等を掲載する。
- 2 『大学探究』は、内外における大学評価及び大学活動に関する研究の一層の発展に資することを主目的として発行されており、大学評価および大学活動に関する研究を行う大学・研究所の教職員、その他編集委員会が投稿を依頼した者および大学評価および大学活動に関心のある者で編集委員長が認める者による寄稿を掲載する。
- 3 投稿された原稿は、編集委員会の責任において審査を行ない、採否を決定する。審査にあたっては、1原稿毎に2名の査読者を選定し、査読結果を参考にする。(査読者には、投稿者名を伏せて査読を依頼する。)
- 4 原稿料は支払わない。
- 5 『大学探究』に掲載された論文等は、その全文をインターネット上の本学会のホームページに掲載する。
- 6 投稿にあたっては、投稿原稿が、・研究論文、・総説、・研究ノート、・実践・調査報告、・その他のうち、どのカテゴリーに入るかを明記する。ただし、カテゴリーについての最終判断は、編集委員会で行なう。なお、本規程におけるカテゴリーの定義は、国立大学法人琉球大学大学評価センター紀要『大学探究』刊行規程による。

### 7 投稿方法

- (1) 使用言語は日本語又は英語とする。
- (2) 「拙著」「拙稿」など投稿者名が判明するような表現は避けること。
- (3) 著者校正は原則として第一校までとする。
- (3) 英文原稿については、ネイティブスピーカーによる英文チェックを済ませ、完全な英文にして投稿すること。
- (4) ハードコピー4部(A4版)を提出する。その際、連絡先(住所、Tel、Fax、Email)と原稿の種類を明記すること。掲載可と判断された原稿については、必要なリライトを経た後に、最終原稿のハードコピー2部とDOS/Vフォーマットのフロッピーを用いたMS-WordのWord文書形式(推奨)及びTEXT形式で作成したファイルを提出する。その際、オリジナル図表を添付すること。図表はできるだけMS-Excelで作成すること。
- (5) 刷り上がりは最大14ページとする。これを超える場合は、その経費は著者負担とする。
- (6) 日本語原稿の最大文字数は以下のとおり。研究論文20,000字、総説15,000字、研究ノート15,000字、実践・調査報告10,000字、その他適宜。それぞれ和文要旨を400字程度、英文要旨を150words程度、及び和文・英文でキーワード(5つ以内)を別に添付する。印刷は1ページ、20字×43行×2

段(1,720字)とする。20,000字の原稿の場合、単純計算では英文要旨1ページを加えて合計13ページとなるが、図表の量によっては、それ以上のページ数となり得るので、注意すること。

- (7) 英文では、A4版用紙に左右マージン30mmをとり、10ポイントフォントを使用し、1ページ43行のレイアウトとする(1ページ約500words)。論文冒頭に150words程度のAbstractをつける。14ページでは、7,000words相当になるが、タイトルヘッド等を考慮して、最大語数を約6,000words(図表、注、文献込み)とする。図表の量によっては、ページ数が予想以上に増える場合もあり得るので、注意すること
- (8) 本文では、原則、数字はすべて半角のアラビア数字を用いること。年は原則として西暦で標記すること。
- (9) 機種依存文字は避けること。句読点(、)カンマ(,)ピリオド(.)を使用すること。引用文は(「」、『』)を使用すること。
- (10) 投稿論文は返却しない。
- (11) 締め切り日は11月30日とする。

## 8 送付先

〒 903-0213 沖縄県西原町千原1番地  
国立大学法人琉球大学 大学評価センター  
TEL 098-895-8115  
FAX 098-805-8115  
E-mail:hyoka@to.Jim.u-ryukyu.ac.jp

## 『大学探究』執筆要領

2007.11.14 大学評価センター決定

### 1 本文、図表、注記、参考文献等

#### (1) 論文等の記載は次の順序とする。

##### ・日本語原稿の場合

第1ページ : 表題、著者名、所属先、E-mail、和文要約(400字程度)、和文キーワード(5つ以内)

第2ページ以下 : 本文、謝辞あるいは付記、注記、参考文献

最終ページ : 英文表題、英文著者名、英文所属先、E-mail、英文要約(150words程度)、英文キーワード(5つ以内)

##### ・英文原稿の場合

第1ページ : Title; the authors name; Affiliation; E-mail address; Abstract (150 words); Keywords (5 words)

第2ページ以下 : The main text; acknowledgement; notes; references

#### (2) 本文の区分は以下のようにする。

##### ・例(日本語及び英文)

1.

1.1.

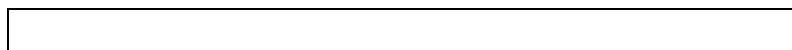
1.1.1.

1.1.2.

#### (3) 図表については、出所を明確にする。図表は原則として、筆者提出のものをそのまま写真製版するので、原図を明確に作成すること。写真は図として扱う。

##### ・例：日本語原稿の場合

図1 ○○州における生徒数の推移



(注)

(出所)

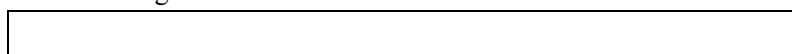
表1 ○○州における事故件数

(注)

(出所)

##### ・例：英文原稿の場合

Figure 1 Number of Students in the State of ○○



Note:

Source:

Table 1 Number of Accidents in the State of ○○

--	--

Note:

Source

(4) 本文における文献引用は、「・・・である (阿部 1995、p.36)。」あるいは「・・・である (阿部 1995)。」のようにする。英文では、(Abe 1995, p.36) あるいは(Abe 1995)とする。

(5) 本文における注記の付け方は、( ...である<sup>1</sup>。)とする。英文の場合は、( ...<sup>1</sup>)とする。

(6) 注記、参考文献は論文末に一括掲載する。

注記

1 .....

2 .....

(7) 参考文献は、本文中に引用した文献に限るとし、日本語文献は著者の五十音順、外国語文献は著者のアルファベット順に記し、年代順に記載する。日本語文献と外国語文献は区別して記載する。参考文献の書き方については以下のようにする。

- ・日本語単行本：著者（発行年）『書名』、発行所  
（例）琉球太郎（2007）『大学評価』、日本出版社
- ・日本語雑誌論文：著者（発行年）「題名」、『雑誌名』、巻(号)：頁 - 頁  
（例）琉球太郎（2007）「授業評価手法の改善に向けて」、『○○研究』、1(2)：3 - 4
- ・日本語単行本中の論文：著者（発行年）「題名」、編者『書名』、発行所、頁 - 頁  
（例）琉球太郎（2007）「大学と地域連携」、琉球花子『高等教育』、日本出版社、16-28
- ・複数の著者による日本語文献：著者・著者（発行年）『書名』、発行所  
（例）琉球太郎・琉球花子（2007）『授業評価』、日本出版社
- ・英文単行本：著者（発行年）. 書名. 発行地：発行所.  
（例）Rossi, P. H. (1999). *Evaluation: A Systematic Approach 6th edition*. Beverly Hills, Calif: Sage Publications.
- ・英語雑誌論文：著者（発行年）. 題名. 雑誌名, 巻(号), 頁 - 頁  
（例）Rossi, P. H. (1999). Measuring social judgments. *American Journal of Evaluation*, 15(2), 35-57.
- ・語単行本中の論文：著者（発行年）. 題名. In 編者 (Eds.), 書名. 発行地：発行所, 頁 - 頁.  
（例）DeMaio, T. J., and Rothgeb, J. M. (1996). Cognitive interviewing techniques: In the lab and in the field. In N. Schwarz & S. Sudman (Eds.), *Answering questions: Methodology for determining cognitive and communicative processes in survey research*. San Francisco, Calif: Jossey-Bass, 177-196.
- ・2名の著者による英語文献：姓, 名, and 姓, 名（発行年）. 書名. 発行地：発行所  
（例）Peters, T., and Waterman, R. (1982). *In Search of Excellence: Lessons from America's Best Run Companies*. New York: Harper & Row.
- ・3名以上の著者による英語文献：姓, 名, 姓, 名, and 姓, 名（発行年）. 書名. 発行地：発行所.  
（例）Morley, E., Bryant, S. P., and Hatry, H. P. (2000). *Comparative Performance Measurement*. Washington: Urban Institute.

・ホームページ

サイト名（ホームページアドレス）アクセスした日付

（例）琉球大学大学評価センター（<http://www.u-ryukyu.ac.jp/faculty/institute/gakunai/uec/index.htm>）  
2007/12/31

（注1）同一著者名、同一発行年が複数ある場合は、（1999a）、（1999b）のように a,b,c を付加して区別する。

（注2）2行にわたる場合は2行目以降を全角1文字（英数3文字）おとして記述する。